

GOVERNOR's Monthly Letter



インスピレーションになるう

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー月信 vol.12

2019年6月号

RI会長テーマ 「Be The Inspiration = インスピレーションになるう」 を考える



地区ターゲット
「研修と活性化」
《その12》

国際ロータリー第2580地区
2018-19年度ガバナー
松坂 順一



5月11日(土) 東京臨海西ロータリークラブ「国際ロータリー加盟認証状伝達式」にて。

【ロータリー親睦活動】月間

今月はロータリー親睦活動月間です。親睦はロータリー活動の一番の基本と言われています。ロータリーの発展史が示すようにはじめに親睦から始まり、職業奉仕が生まれ、社会奉仕に展開し、そこから国際奉仕が育ったというように親睦活動が出発点となっています。しかし、親睦の意味をちゃんと理解して、実践しているでしょうか？酒を酌みかわすことだけが親睦ではありません。例会を通して親睦から「奉仕の理想」を考えることが重要です。親睦活動には大きくわけて1. 会員相互、2. 例会のビジター、3. 他クラブとの親睦、4. 家族を交えた親睦会と4つ分野があります。次年度のRIの強調事項にもなっている「ロータリー活動と家族の補完し合う文化の構築」、「すべての行事に子供を受け入れる」ということを考えましょう。家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような場をつくり、家族の理解と支援を得ることが、質の高いロータリー活動につながると思います。

【研修と活性化】その12

本年度はガバナー補佐の増員、ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)、RYLA、奉仕活動情報交換研究会を開催し、クラブの活性化をお手伝いするための事業を行いました。従来のパターンを踏襲するクラブ運営からちょっとした変化ができましたでしょうか？ぜひとも、活性化

の第一歩を踏み出してください。『規定審議会』ではクラブ運営に影響があると思われる制定案が可決されました。正式な報告である決定報告書が5月下旬に各クラブ幹事あてにRI本部より配信されました。ご覧になったでしょうか？ここでは重要な2つのポイントのみ、記載させていただきます。ひとつ目は職業分類にもとづく入会制限(同一職業分類5名まで)を撤廃し、無制限になった点。第2点目は、メイクアップの有効期限が延長されました。例会欠席日の前後1週間でしたが、同年度内はメイクアップが有効になります。出席率の計算方法に注意が必要です。

1年間にわたり『研修と活性化』をテーマにガバナー月信を書いてまいりました。あえて勉強のつもりで、RIが毎月、推奨する強調月間に対する意味と意義をロータリー章典やRIのホームページを参考しながら自分なりの解釈を加え平易な文章で書くことに専念しました。4月に皆様にお送りしたアンケートの回答でも、好意的な意見が見受けられました。今回は私自身のメッセージだけではなく、地区全体の活動を理解していただきたい本編+資料編という形でEメールにて発信いたしました。最後に1年間、飽きずに読んでいただいたクラブ会長、幹事をはじめとする皆様に感謝いたします。次にお会いできることを楽しみに、筆をおきます。本当にありがとうございました。

6 月 号 の I N F O R M A T I O N

◆ガバナー月信

1P ガバナーメッセージ

2P 月間テーマ

3~5P ガバナー補佐年度報告

5~6P 地区委員長年度報告

7P 地区行事予定表 6月分

8P 訃報 認証者情報 会員数報告 編集後記

◆ガバナー月信資料

2P 元RI会長 田中作次 27のヒント

3P コーディネーター NEWS 6月号

4~5P ハイライトよねやま 230号

6~23P 青少年奉仕情報 第35号

—— 月間テーマ ——
『ロータリーの親睦』

ロータリーの親睦

2009～2010年度パストガバナー

多田 宏

(東京神田RC)

ポールハリスは「親睦」をどう捉えていたのか。まずロータリークラブは親睦と事業のネットワークを重点においた友情と信頼関係を築けるクラブであるということが原点。友情と信頼関係を築けることは、まず共通の夢を語り合えるということがなくてはならない。

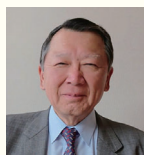
共通の夢についてポールハリスは四つに分けている。①平和な世界の構築②道徳的な事業の敢行③家族のための安全で健康的な環境の創造④地域社会への奉仕。1905～1910年当時、同業者クラブとか趣味のクラブだとかクラブは色々あったようだが、彼はこれら四つの理念を語り合える、友情と信頼関係を築き合えるような親睦団体にしようということだったようである。彼の親睦感はどこからきたのか？少年時代の彼は敬虔なピューリタンで人間の善行をたたえた祖父の影響を強く受けた。その人間形成のベースとは誠実、儉約、寛容、友情という四つのファクターが、ポールの内側にある中心的な価値観を形成した。その後勉学に励み弁護士となった彼は心を満してくれる友との友情を求めてロータリーを結成。20世紀初頭の資本主義が台頭してきた時代の経済状況下、あるいは社会にあつて、ただ飲んだり食べたりするだけが果たして親睦なのか？平和な世界の構築を論じたり、あるいは道徳的な事業の敢行等、四つの夢について腹の底から心を割って話せる、そういう会を作ったようである。こうして親睦プラス事業のネットワークを構築する会にしてきたが、或る時、行き詰まり1業種1名とした。やがて、親睦だけでは長続きしないというムードの中から奉仕をしよう、ロータリアンたち

の一番直面する地域社会での問題を解決していこうと、社会奉仕の原点であるシカゴの公衆トイレの建設を行った。親睦から奉仕へと発展することによって、ロータリーは更に強固なものへと進化してきた。ゆえに、ロータリークラブを親睦団体だと言う人もあれば、奉仕団体と言う人もいる。いずれも間違いではないが、親睦団体から奉仕団体へと発展していった。心を開いて四つの夢を語り合える仲間づくり、そして、平和な世界の構築、道徳的な事業の敢行、家族のための安全で健康的な環境の創造、そして地域社会への奉仕というのが土台になっていることを知っておくことが大事ではないか。これはこのロータリーという「ビル」を壊しても残る。ロータリーという「ビル」ができて百数十年が経過し、いろいろなデコレーションが付いた。そのデコレーションに私達は右往左往していないだろうか？ロータリーという「ビル」はデコレーションをかければ、かける程目がくらむ。だからポールハリスが何故ロータリークラブを設立したのかという事を知っておくこと、その原点、それは親睦と、それから事業のネットワーク構築、即ち、四つの事がしゃべれる仲間作りといったことが大事なのである。ロータリークラブには色々の規約や定款があるが、それらはひとつの物差しであつて推奨事項なのだ。時代の流れの中で、変わらねばならない事は沢山ある。又、ロータリー活動は地球規模になってきた。それもひとつの変化、変遷だろう。だからこそ「土台」をしっかりと守って、あとは自分達のクラブをひとつのコアとして守っていけばよい。

— 完 —

ガバナー補佐年度報告

中央分区

ガバナー補佐
井上 貴夫
(東京神田RC)

クラブ訪問ではクラブの活動状況をお聞かせいただき、ガバナー公式訪問又会長・幹事会にも参加させていただきました。各クラブ共、活動は順調に消化され奉仕、研修共に熱心に取り組んでおられます。特に新クラブは、奉仕活動をしたい方々が集まったので最初から色々な奉仕活動を展開されておられます。「新入会員」に対する研修に関しては、入会したクラブに慣れるのが先決というクラブが多く、クラブ協議会に新入会員が参加する事、まず「クラブの活動」を知り IM 又 地区大会への参加によりロータリーを少しずつ知りロータリーを楽しんで頂ければよいと思いました。パストガバナーをお招きしての新人中心の炉辺会を行っているクラブもあり歴史や活動のお話を聞いた後お酒も出、有意義な親睦会になっています。

ガバナー補佐
八木 敏廣
(東京新宿RC)

今年度ガバナー補佐就任にあたり、私は2つの目標を設定致しました。

①松坂ガバナーのお考えを分かり易く会員にお伝えする。

②IM in Shinjuku の成功です。

①に関して、地区が行った組織改革については概ね会員の理解を得る事が出来たと思います。各クラブへの呼びかけとして「RCの未来を考える委員会」の設置に付きましては僅かですが芽が出て来た様にも思います。

②に関して、新宿5クラブ共同事業の将来について熱心に議論して頂きました。次年度には有意義な奉仕事業計画が立案されるものと期待をしています。最後になりますが、皆様には大変お世話になり厚く御礼を申し上げますと共に各クラブの益々の発展を願っております。

ガバナー補佐
小川 光生
(東京城北RC)

就任して一年経ちました。ガバナー補佐研修やRLIの講習と、就任前は何かと忙しい時間を過ごしましたが、今年に入りあつという間の一年が経ちました。中央分区は3人のガバナー補佐が、別々にIMを開催しましたが、ガバナーが思っておられる成果が得られたか気になるところです。私達の分区は千代田6クラブ新宿5クラブ城北5クラブとそれぞれが担当クラブを持ち、その結果クラブの結束が強まり、活性化に役立つ事と信じます。各クラブに訪問し研修を通して、親睦や絆が深まれば幸いです。私たちの役目がクラブの運営に、どれほどの効果があったかは自信がありませんが各クラブの会長幹事さんを始め、温かいご支援ご協力に感謝致します。有り難うございました。

北分区

ガバナー補佐
大野 利美知
(東京上野RC)

数回のクラブ訪問時に会長・幹事と面談をする十分な時間をもち、ガバナー方針と各クラブの会長方針、クラブ現況を話し合い理解し合えたのは、今年度のガバナー補佐が5クラブと少ない担当の効果だと思います。また各クラブに他クラブの良いところを交えて伝えていたのも少ない担当クラブで各クラブの現況を十分把握できたからです。

5月20日に創立20周年を迎えた東京後楽ロータリークラブ、来年創立70周年を迎える東京北ロータリークラブまで、各クラブ創立年数に応じた特色のあるクラブ奉仕活動始め他の奉仕活動が行われていることには敬意を表します。また訪問時に歓迎していただきました各クラブに厚くお礼を申し上げます。

ガバナー補佐
稲川 一
(東京豊島東RC)

ガバナー補佐の就任が決まり、研修を重ねた時期を含めてほぼ一年半となりました。「研修と活性化」を掲げスタートした松坂順一ガバナー年度でしたが、その中で担当クラブに対し、各クラブの現況を把握し会員増強目標への努力と、クラブの将来像を検討する組織作りを伝える任務がありました。ところが、公式訪問やクラブ会長のお話から、各クラブ共、クラブの歴史と伝統の中で、方法は異なりますが既にそれぞれの問題に取り組む、努力されていることを確認することができました。国際ロータリーの方角性を見極めるのも大事ですが、ロータリーはクラブが一番。将来の会長、幹事には自信を持ってクラブの運営に取り組んでもらいたいと願っています。

ガバナー補佐
藤掛 靖元
(東京浅草中央RC)

この一年、各クラブの会長幹事様には改めてご自身のクラブの将来の姿、ビジョンについてお考えを巡らされた事と思います。私も皆様との対話の中に「ロータリーとは」と、自身のロータリー観について改めて考える機会を得ることが出来ました。本年度で策定したクラブのビジョンを是非次年度に繋げクラブの活性化を更に推し進めて頂きたいと思います。私が担当させていただきました東京王子RC、東京浅草RC、東京荒川RC、東京浅草中央RC、東京あすかRC、東京リバーサイドRC、(設立順)各クラブの会長、幹事様はじめクラブ会員の皆様、ありがとうございました。

ガバナー補佐年度報告

東分區

ガバナー補佐
江川 勝
(東京足立RC)

ガバナー補佐に就任したお陰で、他分
区ないし合同例会での IM に出席する
機会に恵まれた。どこの IM において
も、今年度松坂順一ガバナーが目標と
して掲げる「研修と活性化」を基本とし
た講演や対談等が行われた。勿論講演
者や登壇者は異なり、内容も異なるが、
趣旨は、上記目標に通じるものであっ
た。又、担当クラブへの訪問で感じたこ
とは、これも当然のことながら、会員数
の多寡に拘わらず、クラブ運営の進め
方は、おおそ同一であるものの、その
内容は、各クラブ共ガバナーの目標を
意識しつつも、独自の工夫を凝らした
運営で大変興味深かった。要するに、IM
にしても、各クラブにおいても、ロータ
リーの目的に則った多種多様な自主的
な運営をこれからも維持し尊重すべき
であることをご期待申し上げる。

ガバナー補佐
斉藤 実
(東京臨海RC)

今年度ガバナー補佐が初めて3人体制
となり戸惑いもありましたが、多くの
仲間と親しくなれたことは良かったと
思います。研修に関しては、個人的には
大変勉強になりましたが、クラブの会
員に浸透したかは疑問です。老壮青と
バランスのとれたクラブ、活性化の
方が大事と増強に力を入れ多くの会員
拡大したクラブ、例会場・例会時間
を変更し試行錯誤してるクラブ、会員
数が少ないが伝統ある奉仕活動が続
けるクラブと色々特徴がありますが、共
通して言えることは、会員数の減少、
世代交代、クラブ運営が楽でないのが
現状です。組織を単純化し、各クラブ
優先の方針と計画を構築して行く必要
があると感じました。一年間皆様には
大変お世話になりました。

ガバナー補佐
鈴木 隆雄
(東京江東RC)

就任の約1年前にガバナー補佐になる
ことが決まります。その後10月頃から
月1回、7回にわたってガバナー補佐研
修がありました。この研修ではロータ
リー全般についての知識、考え方、研
修の方法および担当クラブとの交流の
方法を学びます。年が明けて就任6か
月前から担当クラブ会長との会合が始
まり、ガバナー方針の伝達をします。ク
ラブ訪問は年に5～6回で、この訪問
によりクラブの目標に向かっての前進
が図られます。ガバナー補佐の役割は、
クラブと地区の橋渡しですから、地区
方針の伝達だけでなく、クラブの現状
を把握して、「強み」を生かし「弱み」を
改善できるように計画を立てます。ク
ラブ訪問の副次的効果はクラブの役員
との交流が図られることです。今後の
分区の運営及び地区の運営に効果が
上がると考えています。

武蔵野分區

ガバナー補佐
中村 伸治
(東京東久留米RC)

松坂順一ガバナーの地区ターゲット「研
修と活性化」を、分区内にどのように
ご理解していただき、反映に繋がる
かを思案しながらスタートいたしま
したが、分区内のクラブは、伝統・特
色を十分に有し、「テンポ」と「リズ
ム」を備え、地域社会に認められ奉
仕するクラブの皆様に感激いたしま
した。この一年間、私自身「本気で
研修・本音で親睦」を分区目標に、
いろいろな奉仕事業のチャレンジを
して参りました。受持ちのクラブの
みなさんから教わったことも多く、
奉仕活動の方法を学びなおした一
年になりました。最後に、ロータ
リーの会長は、RIとクラブにしか存
在しません。RIはクラブ会長を中心
とする、クラブの存在、そして活
性化がなければ成り立ちません。
その根幹には、会員の皆さんの意
見を尊重し、保護し、そして語ら
いを忘れない会長でいていただ
きたいことを願います。

多摩分區

ガバナー補佐
藤野 豊
(東京武蔵村山RC)

「研修と活性化」。本年度の地区タ
ーゲットでした。まずは、年度スタ
ート前より、ガバナー補佐へ十分
に研修の機会を与えていただきました
ことに御礼申し上げます。研修内
容はロータリー全般にわたり、個
人的にも気づかされる事も多く、
研修で得た情報の共有とクラブの
更なる活性化のため、分区分区連
絡会(7回実施)を開催いたしました。
クラブの活性化・永続のために、
クラブ戦略計画立案への第一歩と
して、各クラブでクラブの現状分
析に取り組んでいただきました。
クラブの活性化へ向け良いスタート
ができたとは思いますが、継続し
て改善改革していかねばなりません。
単年度の弊害を乗り越え、チャレ
ンジし続けて欲しいと、お願いし、
本年度のご協力に心より感謝を
申し上げます。

ガバナー補佐年度報告

沖縄分区

ガバナー補佐
芝田 祐蔵
(コザRC)

松坂ガバナー年度のロータリーは、時宜に応じた充実した年であったと思います。年度の終わりにあたり、私はロータリークラブの原点を学び取る事が出来ました。新しい時代に向かって、ロータリークラブにしかない奉仕の尊さの出発点を学びたいと思います。それは、RLI の導入であります。これを継続することによって、自己研修が出来ると信じます。ロータリーが、ややもすると自己の利益を優先して求めてしまいようになりますが、利益は自然について来るものであります。次年度のリーダーの皆さんはこれを真摯に受け止めて奉仕の理想を求め続けて行っていただきたいと思います。人を知る事の大切さ、奉仕が出来る尊さ、必ずや人生の糧になりましょう。

ガバナー補佐
仲田 憲仁
(那覇北RC)

沖縄分区のRC会長、幹事様、会員の皆様には大変お世話になりました。また、松坂ガバナー・地区役員、委員の皆様からのご指導・ご協力により重責を何とか終了することが出来ました。大変お世話になりました。今年度の分区テーマ“研修”と“親睦”を念頭におき各クラブを知り、先を見据えたクラブづくりのサポートをしていける様な形を創り上げたい思いで活動しました。その中で個人的に感じたことは「イノベーション」と「バランス」でした。「イノベーション」改革については例会の内容の抜本的見直し、「バランス」調和については世代間ギャップを埋めるための親睦交流の手法の導入等であります。今後の課題として進めてまいりたいと考えています。

地区委員長年度報告

ロータリー財団委員長
水野 正人
(東京RC)

1917 年度 RI 会長がアトランタ国際大会で「世界で良いことをしよう」と提案してロータリー財団が創設され、2017 年再びアトランタでの国際大会で財団 100 周年のお祝いをしました。我が地区では次の 100 年に向けて心新たに「初め的一步」と 2018-19 年度の財団活動に取り組みました。地区ロータリー財団委員会に設置されている補助金委員会、財団資金管理委員会、資金推進委員会、ポリオプラス委員会、ロータリー平和フェロシップ委員会の各委員長以下全委員の絶大な奉仕活動の結果、全 71 クラブからご寄付のご協力をいただくことができましたことを心より感謝申し上げます。

ロータリー財団委員会

研修リーダー
吉田 建二
(東京田無RC)

地区研修委員会では、上山ガバナー年度、吉田雅俊ガバナー年度、そして今年度と 3 年計画で研修の成果をあげるべく努力をして来ました。松坂ガバナー年度はその総仕上げで、彼のターゲット「研修と活性化」を具現化することに邁進しました。研修の目標は、1. ロータリーの何たるかを幅広く、楽しく理解することにより、魅力あるロータリアンに成長すること。2. 次世代をリードするロータリアンを見出し育成を急ぐこと。3. ロータリーの奉仕活動に積極的に参加することにより、その過程でロータリアン同志に真の親睦を深めること。この 3 つを柱に地区研修セミナーを開催し、ガバナー補佐エレクト研修も 7 回開催しました。これらの研修を通じて、ロータリー活動が更に活性化されることを期待しています。

研修委員会

クラブ奉仕委員長
中川 雅雄
(東京浅草RC)

地区のターゲットをもとに地区クラブ奉仕委員会では、2 つの事業を行いました。第 1 は 13 名に増員されたガバナー補佐と担当するクラブとの理解を深め、多くの地区で実施されている RLI を体験するために分区分別『クラブ会長、クラブ奉仕委員長会議』クラブの現状分析を題材に開催。第 2 は各クラブが行なっている奉仕活動を地区全体で理解し、奉仕活動をいま一度考える機会を設けるため五大奉仕委員会合同で、地区大会の友愛の広場でのパネル展示、3 月には『奉仕活動情報交換研究会』を千代田区立番町小学校で開催。密度の濃い活動ができたのも、みなさまのおかげだと感謝しております。ありがとうございました。

クラブ奉仕委員会

職業奉仕委員長
大牟田 文哉
(東京後楽RC)

研修と活性化をターゲットに掲げられた松坂ガバナー年度、職業奉仕委員会は当地区の古典的職業奉仕を訴えてまいりました。倫理感を高め企業・団体の運営に生かす。ロータリーにしかない職業奉仕に誇りを持っていただき、活動をして頂くよう願います。先日、社会奉仕委員会カウンセラー・櫻井権司パストガバナーと懇談する機会がありましたが、僕らが若いころには素晴らしい先輩がいらして、憧れまた学ぶところが多かったという会話になりました。その時に我々がそういった存在にならなければいけないという事に気が付いた次第です。大変おこがましいですが、皆さん当地区の素晴らしい先人達に近づけるように高い倫理の元、ロータリー活動をしていきましょう。

職業奉仕委員会

地区委員長年度報告

社会奉仕委員会

社会奉仕委員長
田中 久光
(浦添RC)

「研修と活性化」という地区ターゲットの下、各クラブに対して、どうすればお役に立つのかについて行動してきました。具体的には、①地区社会奉仕委員会が、できる限り各クラブを訪問して奉仕活動について意見交換をしました。②ガバナー補佐担当クラブ別で社会奉仕委員長会議を開き、ロータリーの社会奉仕について学び又自由闊達に意見交換をしました。③今年度初開催の奉仕活動情報交換研究会の資料収集展示及び発表会の開催を五大奉仕委員会合同で行いました。松坂ガバナーを始め、当委員会でご指導頂いた櫻井パストガバナー、13人のガバナー補佐の皆様にご多大なご協力をいただきました。本当に楽しく学び、有意義な1年でした。

国際奉仕委員会

国際奉仕委員長
中島 弘人
(東京ワセダRC)

本年度はグローバル補助金(GG)を使った国際奉仕事業を各クラブに取り組んでもらおうとグローバル補助金の仕組みを理解する為の勉強会を開催しましたが、結論として各クラブが日頃から何らかの国際的な交流をしていない限りGGを使った奉仕をしたくてもその機会を掴むことは難しいという当たり前のことが分かりました。そこで海外との友好・姉妹関係を結ぶ為のノウハウ勉強会を開いたところ、新宿クラブが台中のクラブと、秋川クラブがフィリピン・ダバオのクラブと友好、姉妹提携をするなどの進展がありました。この動きが他クラブにも波及して行けば我が地区のGG活用事業も必ず増えていくと思います。先ずは海外と交流しましょう！

青少年奉仕委員会

青少年奉仕委員長
松岡 浩
(東京本郷RC)

近年の地区青少年奉仕では、インターアクトやローターアクトなどのセクターの垣根を超えた青少年たちの交流をすすめています。包括成果発表会もあてはまりますが、例えば、インターアクトとローターアクトが合同で会長幹事会を開催したり、インターアクトクラブに青少年交換留学生が訪問してお互いスピーチをしたり、テーブルディスカッションをしたりします。交流が青少年たちの刺激になり、結果、活動が活性化し、新しい奉仕の機会が生まれることも期待されることです。この流れは次年度も引き継がれていくと思いますので、「青少年奉仕情報」等で是非ご注目ください。

米山奨学委員会

米山奨学委員長
比留間 孝司
(東京武蔵村山RC)

2018 学年度地区米山奨学委員会の主催事業も、2月の期間終了式をもって無事に一区切りとなりました。世話クラブ、カウンセラーをお引き受け頂いた皆様には重ねて御礼申し上げます。また地区内すべての皆様に、事業の理解促進、そして寄付金の増進にあたり多大なご協力を頂きました事につきましてもあらためて感謝申し上げます。米山奨学事業の歴史を語り、実績を誇ることに留まらず、時代的な意義と未来に向けた大きな可能性を実感して頂いたものと確信しております。現時点では既に2019 学年度の事業がスタートしております。どうぞ引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。

RLI委員会

RLI委員長
吉田 建二
(東京田無RC)

RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)は1992年にアメリカで始められたリーダーシップ開発研修組織で、2002年2月のRI理事会で承認を得た多地区合同のプログラムです。日本では2008年6月に日本支部を設立してスタートしました。その後2016年、松坂ガバナーご自身が数名の希望者とともに、他地区のRLIに参加して共感、今年度初めから本格的な準備を進めました。本年度上半期は中村靖治日本支部ファシリテーター委員長にご指導を仰ぎ、地区内を対象にファシリテーター養成講座を5回開講、その結果下半期にクラブ会長ノミニニーを対象とした今年度パートⅠ～Ⅲと卒後コースを独自に開催できました。これによってロータリーとは何かを、ボランティア組織にとって重要なリーダーシップとは何かを理解して、クラブの活性化の一助になることを期待しています。

RYLA委員会

RYLA委員長
嶋村 文男
(東京東江戸川RC)

2019年3月1日(金)～3日(日)第1回RYLAセミナーを沖縄県南城市の「玉城青少年の家」で男子15名、女子12名の27名で開催し、松坂順一ガバナーの『青少年奉仕の更なる拡がり』という目的のもと無事終了しました。セミナーテーマ『心にふれ合う』に基づき、3つの高度な講義や自らを見つめ直す『思索の時間』、班との結びつきを高めるレク、そして難解なディスカッションテーマを徹底的に議論する中で自らのリーダーシップに考え気づく事がRYLAセミナーの目標です。今後はRYLA学友となった若者たちとの交流の輪を大切に育て、いつかリーダーとして世界・地域社会を良くする為に立ち上がる日を楽しみに待ちたいと思っています。感謝。

地区行事予定表 6 月分 (2019/5/24 現在)

1 土		国際大会 ●ドイツ・ハンブルグ
2 日	19:00-21:30	D2790・D2580 合同ガバナーズナイトパーティー ●フェアモントホテル・ハンブルグ
3 月		
4 火		
5 水		
	15:00-17:00	地区青少年交換委員会 ●学生会館 307 号室
6 木	17:00-18:00	青少年交換派遣予定学生オリエンテーション ●学生会館 302 号室
	18:00-19:00	青少年交換来日学生オリエンテーション ●学生会館 302 号室
7 金	10:30-13:30	東京臨海西 RC ガバナー公式訪問 ●東武ホテルレバント東京
	15:00-17:00	次年度 RYLA 委員会 ●ガバナー事務所 B1F ⇄ 那覇 RC 事務局 (在京) インターアクト リーダーズキャンプ ●国立オリンピック記念青少年総合センター
8 土		↓
	09:30-13:30	(沖縄) 青少年交換第 56 期派遣学生 選考試験 ●石川学園 大育情報ビジネス専門学校 ローターアクト関東ブロック大会 ●静岡
9 日		↓
	10:00-15:00	(在京) 青少年交換第 56 期派遣学生 選考試験 ●ホテルメトロポリタン 25F ポラリス
	10:00-13:00	安田学園インターアクトクラブ結成認定状授与式・発足式 ●安田学園北館
10 月	13:30-17:50	当地区 RLI 卒後コース / 17:50-20:00 懇親会 ●ホテルグランドパレス
11 火	14:00-15:00	RRFC との懇談 ●ガバナー事務所 1F
	16:00-18:00	次年度沖縄分区分会 ●パシフィックホテル沖縄
12 水		ローターアクト地区役員会
13 木	15:00-17:00	地区ビジョン策定委員会 ●吉祥寺第一ホテル
	17:30-	東京田無 RC 創立 50 周年記念式典 / 18:45- 祝賀会 ●吉祥寺第一ホテル 7F 春日 / 8F 天平
	15:00-17:00	(在京) 米山 大学説明会 ●ホテルニューオータニ
	18:00-21:00	新旧 地区米山奨学委員会 懇親会 ●ホテルニューオータニ近郊
14 金	15:30-17:30	次年度地区連絡会 ●京王プラザホテル 47F あさひ
15 土	10:00-20:00	ロータリー平和センターセミナー / 年次セミナー / 平和フェローの修了を祝う会 ●国際基督教大学東ヶ崎記念ダイアログハウス
	15:00-	青少年交換学生 茶道稽古 ●裏千家 今日庵 東京道場
16 日	12:00-13:00	(在京) 青少年交換第 56 期派遣学生 選考試験 (保護者面接) / 第 1 回オリエンテーション ●学生会館
	13:30-20:00	青少年交換来日学生帰国前報告会 / 派遣予定学生合同歓送会 ●学生会館 320 号室 / 210 号室
17 月	12:00-15:00	一般社団法人 R の友事務所 理事会・常任委員会 (北分区) 新旧 会長・幹事会 ●上野精養軒
18 火	18:30-20:30	(中央分区) 新旧 会長・幹事会 ●ヒルトン東京 3F 桜 社会奉仕打合せ ●ガバナー事務所 1F
19 水	12:00-14:00	ロータリー希望の風奨学生卓話とランチの会 ●浅草ビューホテル 25F スカイダイニング「大輪」
	19:00-21:00	地区納めの会 ●ハイアットリージェンシー東京 B1F センチュリールーム
20 木	14:30-17:00	新旧地区 RYLA 委員会 ●ガバナー事務所 B1F ⇄ 那覇 RC 事務局
	18:00-	(武蔵野分区) 新旧連絡会 ●吉祥寺東急 REI ホテル
21 金	13:00-15:00	(沖縄) 米山 大学説明会 ●ホテルロイヤルオリオン B1F 旺
	16:00-19:30	(沖縄) 会長エレクト・次期クラブ米山委員長セミナー / 懇親会 ●ホテルロイヤルオリオン B1F 旺
	16:00-18:00	次年度地区 RLI 委員会 ●ホテルグランドパレス
	16:00-20:20	沖縄分区分会 ●沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
22 土	15:00-	青少年交換学生 茶道稽古 ●裏千家 今日庵 東京道場
23 日		ローターアクト会長・幹事会
24 月	14:30-	地区会計処理 ●ガバナー事務所 1F
25 火	18:00-	東京練馬中央 RC 創立 25 周年記念例会 ●ホテルカデンツァ光が丘 B2F ラ・ローズ
26 水		
27 木	18:00-22:30	次年度地区職業奉仕委員会 ●ストリングス表参道 2F ブルックリン
28 金	18:00-	ガバナー補佐情報交換会 ●中華料理店「富麗華」
29 土	15:00-	青少年交換学生 茶道稽古 ●裏千家 今日庵 東京道場
30 日	15:30-17:30	ゾーン 1,2,3 規定審議会報告会 / 17:30-19:30 懇親会 ●ホテルメルパルク東京 3F 薔薇 / 百合
	18:00-	同期ガバナー晩餐会 ●Wakiya Turandot 臥龍居 (がりゅうきょ)
	18:00-	同期ガバナーエレクトキックオフパーティー ●ホテルアンダーズ東京 52F ルーフトップスタジオ

* 日程は毎週更新されています。詳細は地区のウェブサイトでご確認ください。

* 地区の行事は「事前登録制」です。事前登録をなさらないで、参加される場合は、必ず当該行事の担当者にご連絡の上で参加ください。

6/19 地区納めの会ご案内

懇親会では、情熱的なアルゼンチンタンゴをお楽しみください。

日 時：2019 年 6 月 19 日(水) 19:00 ~ 21:00 [開場 18:40]

場 所：ハイアットリージェンシー東京 地下 1 階「センチュリールーム」

東京都新宿区西新宿 2-7-2 TEL03-3348-1234

登録料：1 名 15,000 円

※お手数ですがクラブで纏めてお振込みください

振込期限…6 月 7 日(金)

※6 月 7 日以降のキャンセルは返金いたしかねますのでご了承ください



タンゴダンサー・GYU&夏美れい

謹んで哀悼の意を表します。



山城 瑞成 会員

(やましる ずいせい)
(那覇東 RC)

逝去日 2019年3月1日 享年 77

入会日 2006年3月2日

有限会社山城興産 代表取締役

ポール・ハリス・フェロー

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

4回 大谷 昌義 (東京新宿)

1回 本郷 滋 (東京本郷)

米山功労者・メジャードナー

20回 浅川 皓司 (東京王子)

18回 斉藤 雅夫 (東京お茶の水)

13回 張 碧華 (東京お茶の水)

米山功労者・マルチプル

7回 小出 豊 (東京本郷)

2回 大谷 昌義 (東京新宿) 廣瀬 英昭 (東京本郷)

中川 剛 (東京臨海東)

4月30日分まで 敬称略、順不同

第2580地区 2019年4月会員数

7月1日クラブ数	70RC
7月1日会員数 (前年度から継続)	3,017名
(内女性会員)	204名)
4月末クラブ数	71RC
4月末会員数	3,080名
(内女性会員)	216名)
4月入会者	22名
(内女性会員)	2名)
4月退会者	13名
(内女性会員)	1名)
本年度入会者	224名
本年度退会者	161名
本年度会員増減数	63名
本年度女性増減数	12名

ロータリー活動での疑問点や確認されたいことがございましたら、何でもご相談ください。ガバナー以下地区役員が検討して、次号のガバナー月信でお答えします。ご連絡はこちらまで。

ガバナー月信専用アドレス

fuminori.satoh.set@gmail.com

編集後記

今年度のガバナー月信を担当させていただきました。松坂ガバナーのターゲット「研修と活性化」に関するメッセージを冒頭に、パストガバナー諸氏による RI の月間テーマに合わせた論評、ガバナー補佐便り、地区委員会の報告等、松坂ガバナーのロータリーに対する思いをクラブリーダーの皆様にお伝えできるように編集、発信させていただきました。ご寄稿にご協力をいただきました皆様にこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。また、今年度は配信方法をメールに添付したデータでお送りしました。配信当初は戸惑われたクラブの皆様からご意見をいただきましたが、この5月に配信方法に関するアンケートをおこなったところ別表のような集計結果になりご理解をいただけたと思っています。新年度に向けてのご準備でお忙しい時にご回答いただいたクラブの皆様にご心より御礼を申し上げます。

ガバナー月信のメール配信に		2019/05/21 現在		
アンケート総回答数	賛成	反対	賛否不明	
40	33	3	4	

この12ヶ月間、過去に例を見ないほどのボリュームでガバナー月信を編集、発信させていただきました。ロータリーの素晴らしさ、ロータリーの奥行きに、編集者自身がそのプロセスの中で自らの不勉強さを痛感した次第です。ロータリアンとして成長して行く上で、良い機会をいただいたと感謝いたしております。

さて、松坂年度も残すところ1ヶ月になりました。皆様の活動の総決算になるハンブルグでの国際大会が間もなく始まります。今年度の会長・幹事をはじめクラブリーダーの皆様、地区の役員の皆様、準備期間を含めて長期間に渡り本当にお疲れ様でした。松坂ガバナーの皆様に対する感謝の気持ちと無事に務め終わろうとしているこの1年間の「締め」を一枚の写真にしました。皆様のクラブがますます活性化しますようにという思いを込めて…。



最後になりますが、日常業務でお忙しい中、優しくご指導くださいましたガバナー事務所のお二人に心より感謝を申し上げます。

地区副幹事 ガバナー月信担当
佐藤文則 (東京四谷 RC)